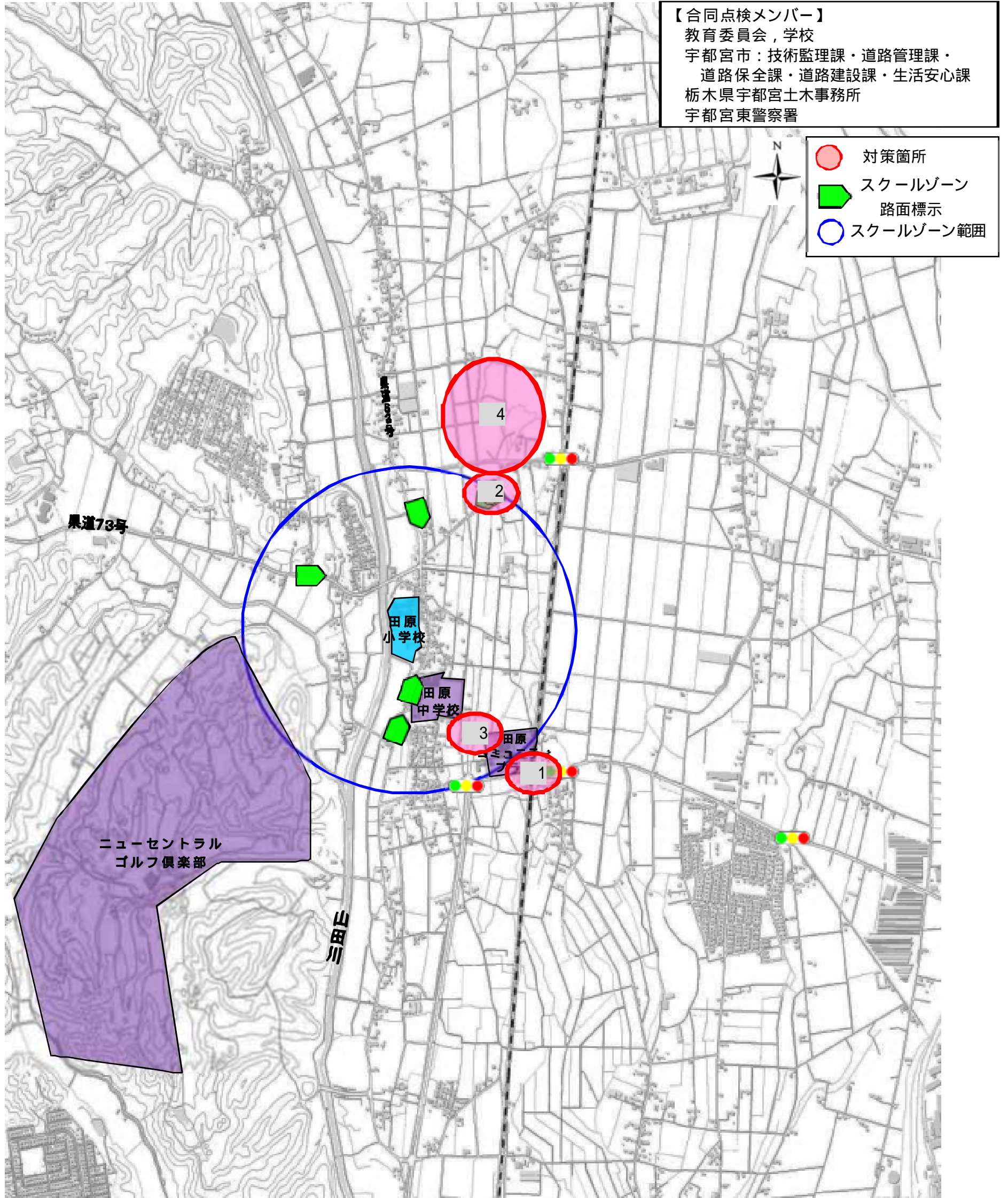


平成 30 年度 田原小学校 通学路合同点検箇所図



学校名	依頼箇所	依頼箇所の状況	対応内容	対応者
田原小学校	宝井町632付近，田原コミュニティプラザ東側の新幹線高架との交差点(県道73号と市道20567号の交差点)	田原街道バイパスの一部開通により，変更した通学路の一部で，新幹線高架下の道路を通過する車両が多く，信号機のない交差点を児童だけで渡るのは難しく，保護者及び地域の立哨により対応している。田原コンプラ前の東西道路から新幹線高架下の北方向の道路に入る車両も多く，右左折車にも注意を払う必要がある。新幹線高架下の南進車が組ぶら前の東西道路に出る際，一時停止の道路標示はあるが，フェンス等により見通しが悪いため，児童の横断を妨害しつつ強引に出てくる車両がある。 [通過人数 100名]	東西方向の横断歩道のそれぞれ手前に「ストップマーク」 信号の要望は受理(但し，相当に困難である) 時間帯進入規制(地元の同意と南北ポイントに立哨が必要・かつ北のポイント(信号機)のところは進入規制が掛けられるか検討が必要)	宇都宮市 警察
	上田原町1523付近のT字路付近(バイパスと市道20707号の交差点付近)	バイパスと市道(1時間に50台程度の交通量)が交差する地点で，開通後は信号機を避ける抜け道として通行車両が増え，一時停止などの交通規則を遵守しない車両が散見されていることから，交通事故の発生を予測している。 [通過人数 40名]	横断歩道の設置 注意喚起の表示	警察
	上田原町12付近(バイパスの一部)	従来から中学校東側の市道と既設バイパスを接続していたため，住民の利用だけでなく，旧田原街道と既設バイパスを往来する車両が多かった。バイパスの開通による通行量の増大，さらに200人ほどの児童・生徒が通学路として利用するようになるなど，当該地点の交通事情が大きく変わっている。 [通過人数 100名]	横断歩道の設置	警察
	田原街道バイパス(現開通地点より北部方面)	[地点A]道幅が狭く，路側帯もない道路だが，登校時は北方面からの車両の抜け道になっており，速度を上げた車両が児童の横を通り抜けることがある。農道でもあり，農作業の大型車両も通行し，南北両方向から車両が来た場合は，ぎりぎりでも通り抜ける状況となり，児童に危険が及ぶ。 [地点B]道幅が狭く，道路西側の路側線(側溝上)を頼りに歩行している状況である。登校時は，この地域は田原街道バイパスが未着手のため，新幹線高架下の道路に車両が集中し，安全確保が難しい [通過人数 40名]	田原街道バイパスの北方向への延伸及び歩道の整備	栃木県